



にしきまち 集落支援だより

令和8年7月28日 No.42

錦総合支所 地域振興課 集落支援員

ふじしげ ひでゆき
藤 重 秀 之

☎ 0827-72-2110



農業で地域を盛り上げようと頑張っている方の紹介

第1弾として、高根地区で地域農業を支える3組の皆さんをご紹介します。

【1組目】「農地を守り、未来へつなぐ 向峠地域の新たな挑戦」、【2組目】「宇佐で手間を惜しまない農業を続ける梶川さん家族」、【3組目】「宇佐でリンドウを育てる中本さん」それぞれの農業への思いや日々の取り組みをご紹介します。

【1組目】「農地を守り、未来へつなぐ 向峠地域の新たな挑戦」

★玉ねぎを中心に新しいことに挑む、これからの農業★

場所：高根地区向峠

向峠地域では、担い手の皆さんが力を合わせながら、地域の農地を守る取り組みが進められています。特に、地域の「耕作放棄地」を引き受けて再び畑として活用する活動は、農地の保全だけでなく地域の活力維持にもつながっています。高齢化などにより農地の管理が難しくなった方々からは、「安心して農地を任せることができる」「地域の農地が守られてうれしい」といった声も聞かれています。現在は組織化を進めながら、持続可能な農業の実現を目指しています。今後は玉ねぎ収穫体験などを通じて、中山間地域の魅力発信や地域活性化にも取り組んでいく予定です。

こうした活動は地域を支える多くの方々の努力によって支えられています。集落支援員としても、皆さんの取り組みを応援していきたいと思っています。今後の展開に期待が高まります。



12月
ねぎを植えている風景



5月
成長を待つ風景



6月
玉ねぎ収穫の風景



7月
アスパラ・トマトの風景



【2組目】「宇佐で手間を惜しまない農業を続ける梶川さん家族」

★～手間を惜しまない農業が育む梶川さんの恵み～★

錦町宇佐地区で農業を営む梶川さん家族は、ワサビをはじめ、トマトやメロン、多種多様な野菜を栽培されています。

今回、集落支援員が訪問して特に印象に残ったのは、畑やハウスの美しさでした。作物を育てる土づくりを大切にし、一つひとつの作付けを丁寧に行うだけでなく、草刈りや周辺的环境管理まで細やかに行き届いており、「良い作物は良い環境から」という思いが伝わってきました。

見事に育ったワサビの収穫・出荷作業の様子を見せていただきました。丁寧に育てられたワサビは品質も良く、出荷を迎える姿からは、これまで積み重ねてきた努力が感じられました。



家族ぐるみで行う農作業



出荷作業風景



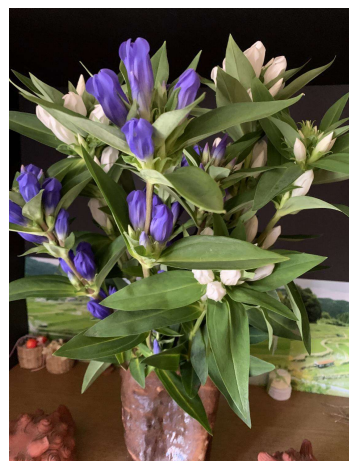
立派なワサビ

【3組目】「宇佐でリンドウを育てる中本さん」

★丹精込めて育てたリンドウを市場へ～宇佐地区・中本さんの挑戦～★

丹精込めて育てるリンドウは、地域の自然の恵みを受けて毎年素晴らしい色彩を見せてくれます。しかし、美しい花を皆さんのもとに届けるまでには、多くの知られざる苦労があります。

特に大変なのが、収穫から出荷に至るまでの一連の作業です。リンドウは傷つきやすいため、一本一本の状態を見極めながら丁寧に手作業で収穫しなければなりません。さらに、出荷規格に合わせた選別、長さを揃える調整、束ねる作業など、出荷直前まで非常に細かく根気のいる作業が続きます。「綺麗な状態でお客さんに届けたい」という中本さんの強い想いとこだわりが、この大変な出荷作業を支えています。宇佐地区の豊かな自然と、中本さんの深い愛情によって育てられた自慢のリンドウ。見かけた際は、ぜひその美しさと、出荷に込められた実直な手仕事に想いを馳せてみてください。



出荷作業風景

リンドウの出荷調整や選別作業を行っている様子



出荷を待リンドウ